

一級自動車工学科

2024年度

授業計画

時 期	4年B巡	単元	実習	教科名	評価実習Ⅰ			
科 目	評価実習	教科書等 持参品	定期点検作業要領書（日産発行）		発行日	2024年7月3日		
			3 年次配布保安基準資料（印刷物）					
総時限	36時限				教科 担当	原田 寛明/滝波 正悟	● ■	
						坂詰 剛/鈴木 雅之	● ■	

1. 指導教員の実務経験

自動車販売会社で自動車整備士として、整備全般の実務経験がある教員による授業

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ① 確実な法定2年定期点検作業を身につける
- ② 時間を意識して正確な作業と測定ができる
- ③ 行った点検整備を正しく記録簿に記入できる

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ① 標準的なご用命事項の法定2年定期点検を、定めた基準時間内で作業を完了でき、他メンバーの指導、支援ができる。
- ② 各車種の正しい定期点検方法を知っており、その点検方法の意味を正しく理解し、良否の判断基準を明確にイメージして作業することが出来る。
- ③ 各点検項目の装置の有無と点検の必要性を理解する。
- ④ 点検の結果、否と判断した項目の部品交換や簡単な付帯作業ができる。
- ⑤ 定期点検記録簿の正しい書き方を理解する。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

・実習履修試験での得点評価

70点以上で合格

80点以上：「優」 70点以上：「良」 70点未満：「未」

再試験合格の場合得点に関わらず：「可」 再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合「可」

出題試験項目

- ① 2年定期点検で点検整備した結果を点検整備記録簿に記入する
- ② 測定結果から指定整備記録簿に転記し、良否判断を行う。
- ③ 検査ラインでの指定項目測定。

5. 準備学習

- ① 1年次の実習「1 年点検」を復習しておく。
- ② 2年次の実習「2 年点検」を復習しておく。
- ③ 4年次の実習「総合実習」を復習しておく。

※ ● ⇒ 実務経験がある教員

※ ■ ⇒ 日産資格保持者

2024年度 授業計画

時 期	4年B巡	単元	実習	教科名	評価実習 I		
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
1	導入：実習準備、法定1年点検と2年点検の違い				導入資料（パワーポイント）		
2	付帯作業①P/Wレギュレーター脱着 第4 FE13				定期点検作業要領書		
3	付帯作業②A/C点検 第2 ZA1				中央日産1年定期点検手順書		
4	付帯作業③タイヤチェンジャー＆バルンサー 第2 タイヤ単体				メンテナンスノート（A巡で配布）		
5	付帯作業④検査ライン 第2 S15&検査ライン				保安基準資料（3年次に配布）		
6	2年点検手順書の作成 FE13又はZA1 全員で確認				指定記録簿（A3版とA4版）		
7	↓ （中央日産1年点検手順書を参考）				記録簿練習問題1～4		
8	↓				記録簿練習解答用紙		
9	2年点検手順書に沿った点検の実施 FE13又はZA1				検査ライン筆記練習問題		
10	↓ （班ごとに実施）				検査ライン実技練習記入用紙		
11	↓ 記入時の注意事項確認し全員で統一						
12	2年点検手順書の作成（学生が実習棟を移動し車両入れ替え）				音波式ベルト張力計	2	
13	↓ FE13又はZA1				ブレーキフルードと交換ツール		
14	↓				パンク修理セット		
15	2年点検手順書に沿った点検の実施 FE13又はZA1				タイヤ各種		
16	↓				マニホールドゲージ	3	
17	↓				温度計	3	
18	車両入替（FE13_E12_HT32_C27_AA1）						
19	1車種目 2年点検を一人1限で実施				FE13	10台	
20	↓ 手待ち：机上定期点検（記録簿記入⇒教員確認）				ZA1	10台	
21	↓ E12の班は付帯作業⑤としてブレーキフルード交換実施				E12	4台	
22	2車種目 2年点検を一人1限で実施				T32	4台	
23	↓ 手待ち：机上定期点検（記録簿記入⇒教員確認）				C27	4台	
24	↓ E12の班は付帯作業⑤としてブレーキフルード交換実施				S15（検査ライン）	1台	
25	3車種目 2年点検を一人1限で実施						
26	↓ 手待ち：机上定期点検（記録簿記入⇒教員確認）						
27	↓ E12の班は付帯作業⑤としてブレーキフルード交換実施						
28	4車種目 2年点検を一人1限で実施						
29	↓ 手待ち：机上定期点検（記録簿記入⇒教員確認）						
30	↓ E12の班は付帯作業⑤としてブレーキフルード交換実施						
31	5車種目 2年点検を一人1限で実施						
32	↓ 手待ち：机上定期点検（記録簿記入⇒教員確認）						
33	↓ E12の班は付帯作業⑤としてブレーキフルード交換実施						
34	実習場整理整頓						
35	付帯作業はクラスを2つに分けて4種の作業を4回のローテーションで行う。 ・パワーウィンドウレギュレータ脱着 ・インテークマニホールド脱着、スパークプラグ点検⇒FY23 A/C点検に変更 ・検査ライン（サイドスリップ、光軸等） ・タイヤパンク修理						
36					試験		

一級自動車工学科

2024年度

授業計画

時 期	B巡	単元	実習	教科名	評価実習 I
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック	
1	リフト操作時	安全確認、声だし、目を離さない	車両落下、車両破損、		
2	エンジン始動時	運転席に座り、ドアを閉め、パーキングブレーキを引き、ニュートラル確認、ブレーキを踏み、安全確認及び声出しをして、始動すること 始動時リフトを上げ、タイヤを地面から離しておく事	車両の暴走により、机と衝突 作業中の作業者の巻き込み事故		
3	作業全般	回転部分への巻き込み防止	ベルト、駆動系への巻き込み事故		
4	タイヤ回転時	絶対にスポークをもって作業しない	ディスクとパッドのすき間点検時に、スポーク部を持ってタイヤを回転させた為、ホイールのスポークと、ブレーキキャリパーの間に指を挟まれ粉砕骨折		
5	冷却水の量点検	エンジン暖機時は、ラジエータキャップを開けない	火傷		
6	ベルトの緩み損傷点検時	イグニッションキーは必ずOFFにする事 ラatchetハンドルを使用する事	最悪の場合、E/G始動の恐れあり スピナーを使用していた為、クッチンを食らって裂傷		
7	下回り点検等	保護具を必ず着用する事	目に異物混入（最悪の場合失明） 手の裂傷		
8	その他	エアホース、リフト操作リモコンは静かに戻す事	人に当たったり、破損の原因になる		
9	車両移動	必ず誘導すること 誘導時は車の真正面、真後ろに立たない	事故防止 暴走時の防衛		
10	検査ラインでの注意事項	検査ラインと車両との前後左右間確保 ライン内前後移動時の誘導確認 フリーローラー上での車両の挙動確認 ヘッドライトテスター使用時の注意喚起	事故防止 フリーローラーやラインリフトでの事故防止 ライト位置調整用レーザーからの目の損傷		
※ 新型コロナウイルス等感染症対策 対応					
1	授業中・休憩中の感染症対策対応	授業中・休憩中、マスクを常時着用 人との距離を取り適宜マスクを外す、水分補給	飛沫等による各種感染症 熱中症		
2	授業中の感染症対策対応	人との密接に配慮し、距離をとる (1m以上Must)	飛沫等による各種感染症		
8. 授業レイアウト (写真の貼り付け可)					
実習場				座学教室	